

事業所名: ディオニス
公表: 令和2年2月1日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点(改善すべき点)を記載
基本情報	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				各部屋を壁で仕切っています。
	② 職員の配置数は適切であるか	4				現在4人の職員と児童数に応じて業務の児童数から職員配置を、調整をしています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2			手すりの設置、玄関広く利用する際の配慮など、手すりの必要に応じて対応しています。
事業内容	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	2	2			職員会議での業務の参加を徹底しており、会議の際には各部署の目標に応じた課題も挙げています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	4				毎月の評価表により保護者様より貴重なご意見を頂いています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				ホームページ、インスタグラムで公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4		「ディオニス」では現在外部評価を行っていません。
	⑧ 職員の業務の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				所(3箇所)以上の外部の研修、専門職による社内研修を行ってまいります。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を個別に分析した上で、放課後等ディオニス計画を作成しているか	4				毎日の課題は各児童さんの目標に合わせた課題を行っています。
	⑩ 子ども達の進捗状況の把握のために、標準化したアセスメントツールを使用しているか	4				同僚職員のアセスメントツールを用いたアセスメント、さらにはツールを用いたアセスメントを行っています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				毎月の予定、各児童さんの目標に合わせた活動の立案を職員会議で決定しています。
運営体制の確保	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4				活動に新鮮さを保てるように子供の興味等を考慮して活動を行っています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して実施しているか	4				平日は意図的でない参加して設定しています。休日時には平日では出来ないような活動の企画を行っています。
	⑭ 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等ディオニス計画を作成しているか	4				各児童さんの状況やアセスメント、専門的なアセスメントを元に活動、課題を設定しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合せし、その旨が行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4				各児童さんのその日の課題や目標、その日の業務も職員間で打ち合わせをしています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合せし、その旨が行われた支援の振り返りを行い、集めた各等を実施しているか	4				その日の出来事などを話し、その出来事や職員には各自伝えるようにしています。

	①	日本の言語に詳しく話せることと聴覚的、支援の機能に役立てられているか	4				「通訳機とは別に個人記録、要約記録等毎時記録し、毎月の職員会議に添かしています。	
	②	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4				毎月の職員会議での話し合いから月ごとの個別支援計画見直し後のモニタリングを行っています。	
	③	ガイドラインの総則の基本姿勢を踏襲しながら支援を行っているか	4				「ガイドライン」の基本的原則、基本姿勢、運営管理に照らしながら行っています。	
	④	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した専ら3人3人参加しているか	4				「担当者会議」には管理栄養士、保健師等の児童との状況を一層理解出来る職員が参加しています。	
	⑤	学校との連携共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの学習状況の把握等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4				「毎週のお迎え時の職員とのやり取りから、連絡調整を行い学校側の連携共有	
	⑥	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4				「現在医療的ケア児さんの連絡はありません。	
	⑦	経営者に利用している職員や社職員、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4				「定期的に児童さんの通園先や通所先との連携を取っています。	
	⑧	存在不安し、放課後等サービス事業所から障害児サービス事業所へ移行する場合は、それまでの実施内容等の情報を提供する等しているか	4				「現在まで移行支援（退園）についてはまだ必要事項は情報提供可能です。	
	⑨	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を行っているか	4				「研修を受けたり、実際に児童発達支援センター見学、児童発達支援センターの方から助言を受けていた職員の方の学習の機会につなげています。	
	⑩	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2			「現在交流の機会はありません。	
	⑪	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	3			「研修への参加をしています。	
	⑫	目標から子どもの成長を把握者と話し合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4				「通訳機や送迎時、LINE等を通じてご相談いただいています。必要に応じて専門職との連携も可能です。	
	⑬	関係者の対応力の向上を促す観点から、関係者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4				「機会ある限り必要に応じてはありますが、今後専門職を介して研修を行う予定でいます。	
	⑭	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4				「契約時に重要事項説明書、契約書ともに説明を行っています。	
	⑮	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要に応じて支援を行っているか	4				「通訳機や送迎時、LINE等を通じてご相談いただいています。必要に応じて専門職との連携も可能です。	
	⑯	父兄の会の活動や支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を促進しているか	3	3			「今後も専門職と交流促進や関係者同士の連携等を行う予定です。	
	⑰	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に通知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				「苦情・相談マニュアルをともに対応させていただきます。	
	⑱	定期的に会議等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				「本館ごとの会議の発行、LINEでの生活情報への送達や活動概要の発行を行っています。	
	⑲	個人情報に十分注意しているか	4				「個人情報保護法の施行に際し、下記の内容の個人情報保護方針を定め、適宜な履行に努めております。	
	⑳	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				「様々なツールを使い活用し、保護者の方と円滑にコミュニケーションが図れるようにしています。	
	㉑	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4				「今後も子育てサロン、情報共有研修等を行う予定です。	
	㉒	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4				「保護者の方向けに災害時の対応、避難マニュアルを作成しお配りしております。	
	㉓	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				「職員向けの訓練は毎月、児童館での訓練は年に1回実施しています。	
	㉔	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				「虐待防止委員会を設置の上研修等を行っています。	
	㉕	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか	4				「身体拘束適正化のための指針を設け職員研修のうえに実施を行っています。一方、身体拘束が必要と判断される場合は保護者の方の方の上で十分な説明はなっております。	
	㉖	食物アレルギーのある子どもについて、食事の指示書に基づく対応がされているか	4				「食後の色分けなどで食物アレルギーへの対応可能です。	
	㉗	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4				「事故防止・発生時対応マニュアルをともに支援をかねて、毎月にはヒヤリハット事例集作成のしと職員会議で共有しています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。